

大府 かわら版



中学・部活動の「地域展開」問題

続報

お金が参加の壁にならないか？

誰もが参加しやすい仕組みに

久永議員が質問

3月市議会で日本共産党の久永かずえ議員は、中学校の部活動の「地域展開」(民営化)問題をめぐり、主体である子どもたちが何よりも安心・安全に活動参加できることを願って市の対応を質問しました(前号・No1445で既報)。引き続き今号では、父母負担となる参加費用の問題などの質疑内容をお知らせします。

懸念の声が…

前号でお知らせしたように、国の方針に沿った「部活動の地域展開」(民営化)Ⅱが大府市でも昨・2025年8月からスタート。土日の部活動が学校から地域に展開されています。しかし、そのための国からの予算措置や体制の保障はなく、関係者からは、民営化による部活動の有料化や自己負担の増加に対して混乱や懸念の声があげられています。久永議員は、この声にこたえて2つの問題をたどりました。

子どもの参加料は年2万4800円!?

第一は、子どもたちが「地域展開」の部活動に参加するにはお金がかかることです。

学校の部活動には毎月の部費のような参加料はありません。自己負担

はそれぞれの部活動に必要な用具費などに限られます。ところが地域クラブの運営では、指導者への謝礼、消耗品費、備品費、保険料に掛かる費用が「参加料」として新たな保護者負担となりました。その必要額は地域クラブ所属で一律、月に2000円、保険料を合わせて年間2万4800円にもなります。「これは支払えない」となれば、学校の部活に参加できていた子どもが地域クラブには参加できなくなり、平等な機会が失われます。

●久永議員の質問：地域クラブの参加料等が年間最低でも2万4800円必要となる。子どもたちが参加しやすいよう負担を軽減する考えは？

◆市の答弁：地域クラブの活動に参加する生徒の家庭の経済的な負担軽減を図るため、就学援助世帯の参加料を全額免除している。



指導員に係る経費は市の負担で

第二は、指導員に係る経費についてです。地域クラブの保護者負担は、毎月の子どもの参加料の他に、試合があれば会場までの指導者分の交通費なども別途請求されます。指導者にかかる費用を大府市が負担することで、保護者負担も軽減することができます。

●久永議員の質問：指導員の活動の中で必要となる大会参加交通費などの経費を、大府市として負担する考えはあるか？

市：受益者負担の考えで

◆市の答弁：地域クラブは、運営事務局の事業者が参加家庭からの参加料や保険料、本市からの負担金などをもとに運営している。大府市からは、地域クラブ運営事務局の事業者が必要とする人件費や、管理経費、一部の参加家庭に対する支援分などを積算して負担金を支出している。交通費などを公費負担して地域クラブ参加家庭の負担をさらに軽減

減することについては、地域クラブの活動状況などを踏まえ適切な受益者負担の考え方などから判断していく。

●久永議員の質問：誰もが参加しやすい仕組みづくりとして、参加料の金額等は総務部門が決めるので、大府市が運営管理団体への負担金を増やせば父母の参加料負担が減るのでは？

◆市の答弁：公費負担のさらなる拡大については、参加者の適切な受益者負担の考え方から地域クラブが判断すると考える。

31日に臨時議会

開会13時

国の法改正の日程によって、やむを得ず年度内に臨時議会を開催できない場合は、議会に図らずに進められることとなります(専決処分)。このため議会を開かない自治体もある中、年度内に開催する大府市の姿勢は評価する点です。

相談はお気軽に
声かけください

生活相談 日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で
弁護士が対応

法律相談

4月15日(水)午後6時～

無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ 090-1758-3521
携帯電話